



# せの喜代の 区議会ノート

区議会での会派は民主党・市民の会です

2008・春  
第27号

介護  
子育て  
環境

<http://senokiyo.sakura.ne.jp/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail: senok@kfx.biglobe.ne.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

## 第一回定例区議会から

# 後期高齢者医療に関する条例に反対

医療費の抑制のための高齢者狙い撃ちに、国民の怒りが政局を揺るがしています。75歳以上の高齢者一人一人の年金から保険料を天引き、しかも値上げ!! 日本は、平均寿命も健康寿命も世界一。受診回数は欧米の4倍、一回あたりの医療費はアメリカやスウェーデンの10分の一。広く安く医療が提供されている国なのです。

医師・看護師数が少なく、偏在していて、医療従事者が疲れきってしまう医療崩壊が心配です。入院日数が長いと指摘されるのは、地域福祉が遅れているが故ではないでしょうか。検査漬け・薬漬け医療の改善も必要です。

月6000円の上限付きの診療報酬では、必要な医療が提供できないと各地の医師会も反対しています。保険料を滞納しても、相談があれば、保険証は取り上げないと区は説明しています。必ず区に相談をお願いします。窓口：荒川区役所 3802-3111 国保年金課後期高齢者医療係  
国会の後期高齢者医療制度廃止法案のゆくえに注目しましょう!



## 認知症サポーター養成講座を!



一昨年の一般質問で、「認知症を知るキャンペーン」の推進を要望し、ようやく、荒川区でも認知症サポーター養成講座を展開する体制が整いました。町会で、職場で、サークル等でぜひ、取り組んでいただきたいと思います。

65歳以上のお年寄りの1割、85歳以上のお年寄りの3~4人に1人が認知症といわれます。認知症は周りの理解があれば、症状の悪化を抑えることができ、住み慣れた町で暮らせませす。

劇団  
あえ笑座  
認知症サポーター  
活躍中!

## バイオマスに注目!

4月14・15日に友好都市である秩父市(荒川村が合併)を区議会として訪問、ちちぶバイオマス元気村発電所を視察しました。秩父市は荒川水系の源流で、面積の87%が森林ですが、林業の衰退、後継者不足で森林が疲弊しています。そこで、森林再生のために、間伐材をチップ化してガス化システムで効率のよい発電を開発しました。



バイオマスとは「生物由来の有機物」で、荒川区では、建築廃材・樹木の剪定枝・生ごみ・廃食油などがあります。荒川区ではどう再生利用するかが課題です。